

# みなさんと力をあわせて実現します

## 横田えいじの重点政策

### ◆福祉・くらし・教育を守る

- 高すぎる国保料は引き下げを
- 特養ホームを増設し、待機者の解消
- 18才までの小児医療費無料化・所得制限撤廃
- 小中学校給食の無償化
- 補聴器購入費助成制度の実現



### ◆緑と環境を守る

- 太陽光発電など再生可能エネルギーの普及促進
- 農地の工業用地化でなく、自然と農業を守る

### ◆デジタル化は市民のために

- 市民の個人情報を守る
- マイナンバーカードの事実上の義務化は許さない
- 教育のICT化は、一律ではなく、現場の声を生かして

### ◆ジェンダー平等の促進

### ◆統一協会も推進する 家庭教育支援条例はつくらせない

物価高騰からくらしを守り、大軍拡を許さず  
憲法9条を守り活かします  
統一協会との癒着を許しません

子どもから高齢者まで、障がい者も  
安心して住み続けられる街に  
日本共産党小田原市議会議員

# 横田えいじ

英司



#### 【プロフィール】

- 1957年、高知県高知市生まれ
- 静岡大学理学部物理学科卒
- 三菱電機コンピュータソフトウェア  
（株）で開発・研究
- 党神奈川県委員会に勤務
- 2012年と17年に衆院選挙神奈川県17区  
立候補
- 2019年小田原市議会議員
- 趣味はコンサートホール通い
- 住所 小田原市南鴨宮2-15-2-603
- 電話 0465-44-4511
- ファックス 44-4518
- Eメール yokotaeiji2011@gmail.com

#### 横田えいじ活動地域

中里・下堀・矢作・鴨宮・飯泉・上  
新田・中新田・下新田・南鴨宮・国  
府津・田島・酒匂・西酒匂・小八幡・  
中村原・羽根尾・前川・上町・小船・  
山西・沼代・小竹

小田原民報 2022年11月 号外  
発行：日本共産党小田原市委員会  
住所：小田原市堀之内3 18-1  
電話：0465-20-3261

## ごあいさつ

市議会議員になって4年。最初にした質問は国民健康保険料の引き下げと選挙公報の点字化。高齢や障害などで投票に行くのが困難な方たちの投票権。共産党の先輩議員たちがずっとやってきた暮らしと福祉の問題を引き継ぎ、私が関わってきた障がい者の方たちの視点も取り入れるようにしました。

国や守屋市政が進めるデジタル化については、バラ色に描く未来に惑わされることなく、市民目線で市民の暮らしに役立つのか、個人情報の保護に危険性はないのかと、技術者の経験を生かして問題提起をしてみました。原発のようにデジタルの「安全神話」にとらわれてはなりません。

憲法や平和の問題では、歴史教科書の再採択、統一協会も推進する家庭教育支援条例など、気がつかなければ、本市がいつの間にか右傾化するかもしれません。市民の皆さんに、問題の所存を明らかにしてきたつもりです。また、守屋市長が就任してからは、「一人10万円問題」や統一協会との関わりについても、取り上げてきました。

「生理の貧困」やヤングケアラー問題を議会で質問できたのは、市民のみなさんの要求と後押しがあったからです。これからも、みなさんとともに市政を良くしていきます。

# 市民のいのち、くらし、平和を守る あたたかい市政を！

横田えいじはみなさんの声を市政に届けてきました

横田えいじ市政報告会



## 社会保障の充実

### ★国民健康保険料の引下げを

国からの1兆円の公費負担などによって、国保料の引き下げを求めました。特にコロナ禍で暮らしが大変な時の負担軽減を求め、国保料の値上げは行われませんでした。

### ★介護保険料の負担軽減を

介護保険料の負担軽減を求め、値上げは行われませんでした。

### ★重度訪問介護サービスを十分利用できるように

問題の根本にヘルパー不足、その原因は低い報酬単価であることを明らかにしました。

### ★後期高齢者医療制度の見直しを

利用者の半分近くの方は所得がない方。その方たちにも保険料がかかり、コロナ禍で受診抑制が起こっていることを明らかにし、制度自体の見直しを求めました。

## 暮らしの充実を

### ★障がい者や高齢者が投票できるように

視覚障がい者のために選挙公報が点字化されました。障がいや高齢で移動が困難となっている方が不自由なく投票できるよう求めました。

### ★点字ブロックの敷設の拡充や補助犬への財政支援を求めました。

### ★「生理の貧困」対策を

教育現場での生理用品提供を求めるとともに、ジェンダー平等と貧困と格差の解消施策の充実を求めました。

### ★小田原市立病院の「独法化」の問題を指摘し、進まないようにしています。

### ★上下水道事業の「民営化」の問題を指摘し、進まないようにしています。

### ★物価高騰対策

### ★ケア労働者の待遇改善

## 防災・環境対策

### ★台風により堤防が崩れた森戸川、高潮被害が出た国府津海岸などの対策、大雨により土砂崩れの起こった曾我大沢や穴部などの対応を求めました。国府津海岸では堤防が延長されました。

★避難所の要配慮者の対応を提案しました。

### ★SDGsの推進、鬼柳・桑原地区の農地の重要性を指摘。



2019年の台風19号による高潮で建物が倒壊

## 教育・子育ての充実を

★少人数学級の推進を求め、小田原市は国より1学年前倒しで実施が始まりました。

★ステップアップ調査やギガスクールの問題を指摘し、学力調査に予算をかけるのではなく、一人ひとりの子どもに目が行き届く授業ができる環境の整備を求めました。

### ★ヤングケアラー対策

先進自治体の事例を紹介し、対策の充実を求めました。

★国保料の子供の均等割りの廃止を求め、小学校入学前の子どもの均等割額は5割軽減になりました。

## 憲法・平和

★中学校の歴史教科書の再採択が実施されることを明らかにし、教科書の変更はされませんでした。

★小田原市の平和推進事業の継続を求めました。核兵器禁止条約の批准を求める意見書提出の呼びかけ人になっています。